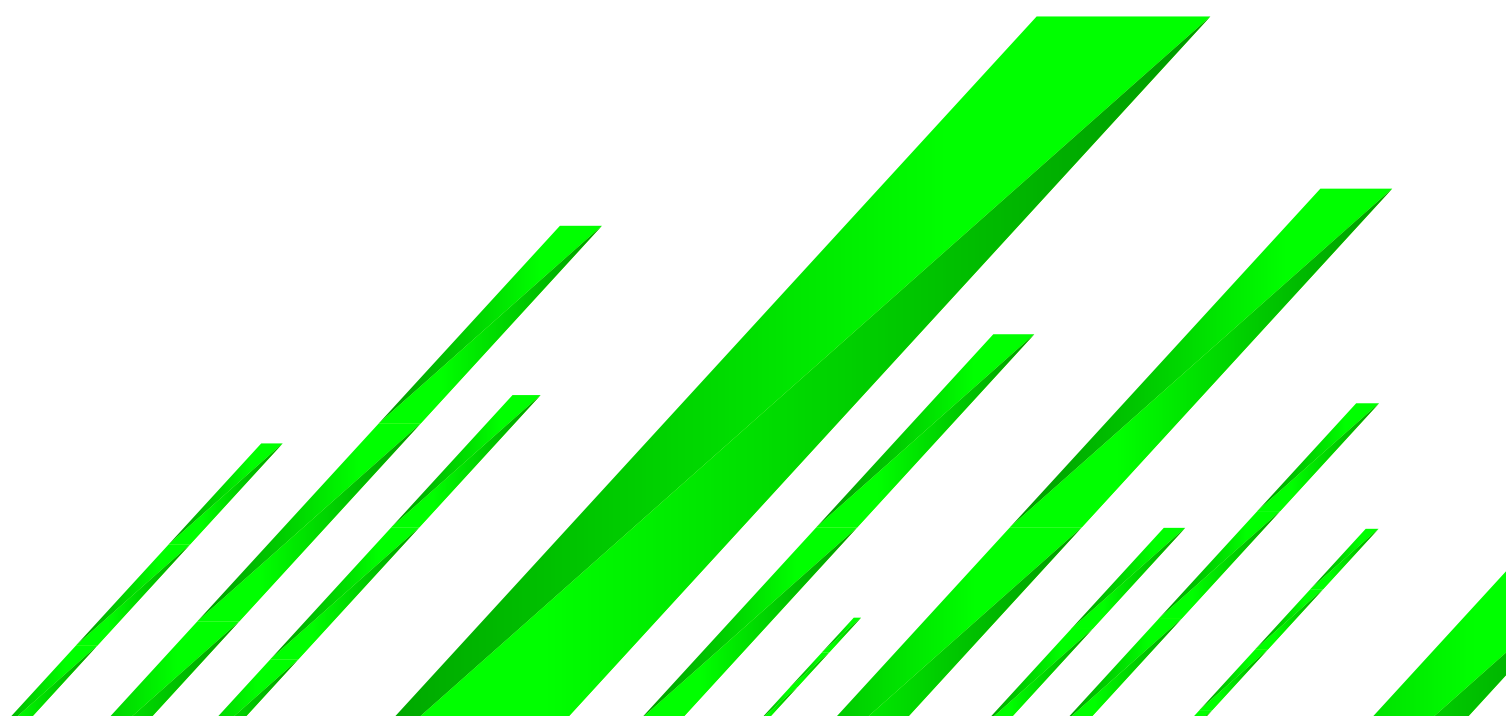


# GXリーグ基本構想

---

2022年2月1日

経済産業省 産業技術環境局 環境経済室



# 1. なぜ始めるのか

## ① 企業努力は、正当に評価されているのか。

- ーポジ：低炭素・CN技術の世界での貢献可能性、TCFD賛同も世界一
- ーネガ：地理的・エネルギー的制約要因で、ネガティブなイメージも固定化

➔ **日本企業の環境投資を正当に評価する構造が必要。**

## ② 欧州標準を受け入れるだけで、勝ち筋はあるのか。

- ー欧州政府だけではなく、海外のNGO/NPO、民間企業連合のルール形成が先行
- ー「デファクト→デジュール」の更なる流れが加速化

➔ **官民連携でのルール形成能力を高めていくことが重要。**

## ③ 日本から世界に対して、市場創造の提案ができてきているのか。

- ー日本は、政府がルール策定、企業はプレイヤーという固定的構造
- ー規制が決まってからの「受け身」では、市場獲得は困難（日本企業の持つ、削減貢献効果の高い製品などの強みが活かされない。）

➔ **GX市場の創造のために、リーダーシップが求められている。**

## 2. なにを目指すのか

### ① 企業が世界に貢献するためのリーダーシップのあり方を示す。

－これまで : 欧州中心のイニシアチブが世界に普及

－今後必要な議論 : 生活者視点でのカーボンニュートラルに向けた未来像を踏まえ、GX実践企業のリーダーシップ(行動指針)を議論

### ② GXとイノベーションを両立し、いち早く移行の挑戦・実践をした者が、生活者に選ばれ、適切に「儲ける」構造を作る。

－これまで : 炭素削減価値を表示する手段が限定的・未整備

グリーン商品が選定される市場が存在しない。

－今後必要な議論 : 新たな市場創造のための官民でのルールメイキング(表示ルール、グリーン商品の調達の推進 等)

### ③ 企業のGX投資が、金融市場、労働市場、市民社会から、応援される仕組みを作る。

－これまで : 削減目標の野心度、排出量の多寡で評価

－今後必要な議論 : 上記に加えて、移行努力、削減貢献、GX投資も評価可能な仕掛けを議論

# GXリーグ基本構想への 賛同企業募集について

# GXとは

「グリーントランスフォーメーション」の略。

2050年カーボンニュートラルや、2030年の国としての温室効果ガス排出削減目標の達成に向けた取組を  
経済の成長の機会と捉え、排出削減と産業競争力の向上の実現に向けて、**経済社会システム全体の変革**がGXです。

# GXリーグはGX企業が産官学と協働する場。

2050年カーボンニュートラル実現と社会変革を見据えて、  
GXへの挑戦を行い、現在および未来社会における持続的な成長実現を目指す企業が  
同様の取組を行う企業群や官・学と共に協働する場が、GXリーグです。

# GXリーグが目指すもの

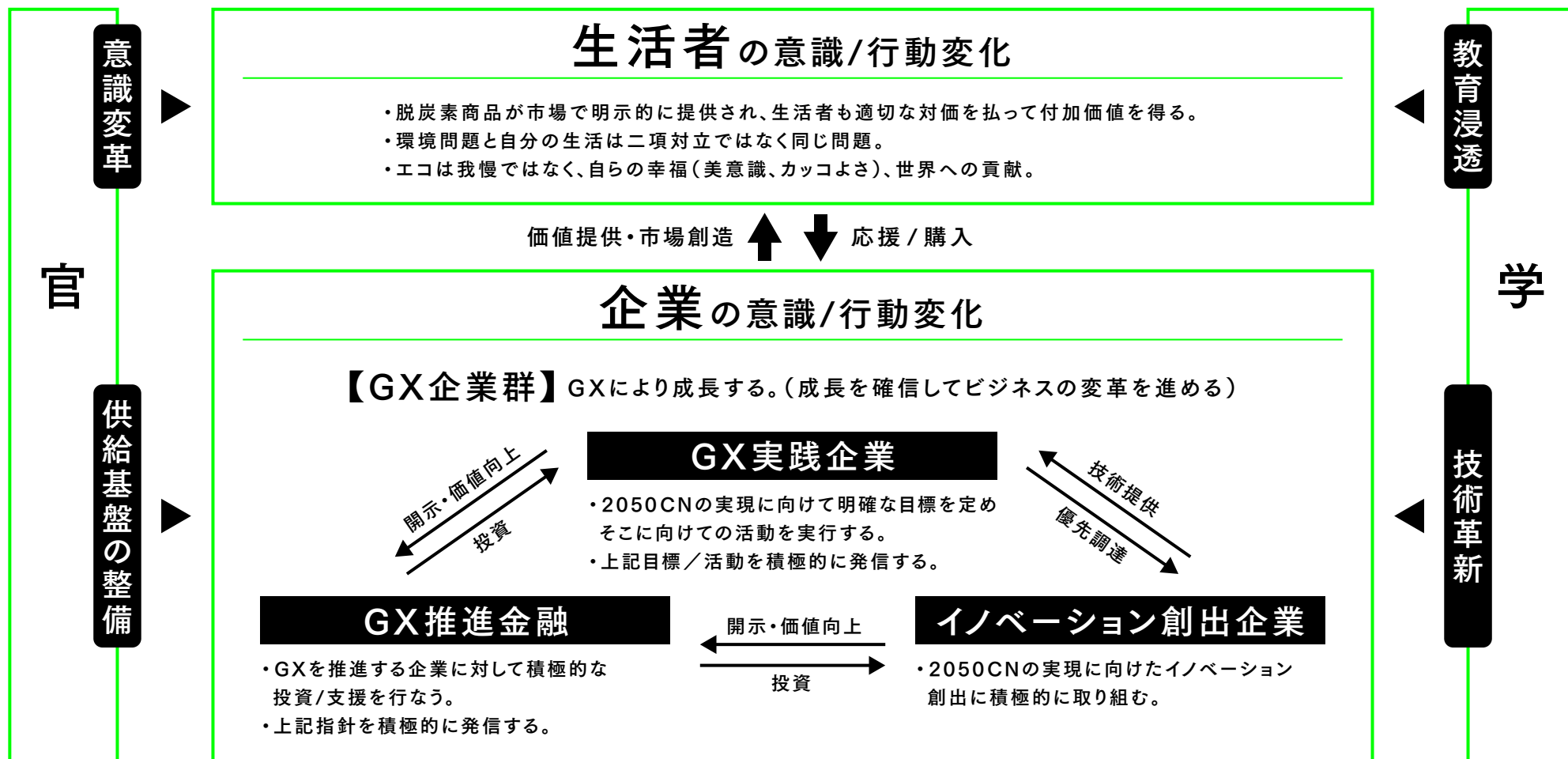
GXへの挑戦を行う企業が、排出量削減に貢献しつつ、  
外部から正しく評価され成長できる社会（経済と環境および社会の好循環）を目指します。

# GXリーグのコンセプトは「リーダーシップ」

GXリーグが目指す好循環には  
多くの企業による自発的・能動的な未来社会への行動、「GXへのリーダーシップ」が必要です。  
GXリーグは、リーダーシップを持って2050年のあるべき社会をリードする未来企業の集合体を目指します。

# GXリーグが目指す世界観

GXは社会変革であり、企業自らの挑戦と共に、社会全体のビジネスルールや生活者意識の変革を必要とします。そのため、GXリーグでは、GXに自ら取り組む企業群と官・学が連携し、2050年の未来社会像および、そこに至る道筋と課題を共有しながら、市場ルールの形成、生活者意識への働きかけなどを行い、GX実現に必要な市場環境、情報資源、人的ネットワーク、社会機運を創出・整備し、GX企業自らの挑戦と成長をサポートします。



# GXリーグ基本構想への賛同企業を 2022年 **3月31日まで** 募集しています。

未来へのリーダーシップを持ち、  
GXによる自社の成長を志し、2050年の未来社会をリードする企業を募集しています。

2022年度、GXリーグでは、賛同企業と共に  
「未来社会像対話」「市場ルール形成」「自主的な排出量取引」という3つの場の構築を行います。

2023年度以降、これらの3つの場を通じた  
アカデミア、金融界、他企業、政府との連携・協働を通じて、GX社会の実現を目指します。

賛同方法は以下詳細URLをご覧ください。

[https://www.meti.go.jp/policy/energy\\_environment/global\\_warming/GX-league/gx-league.html](https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/GX-league/gx-league.html)

# GXリーグが提供する3つの場

以下の3つの場を通じて「先駆的取組を主導する事業者間での対話を通じた政策形成」という新たな手法へのチャレンジを共に行います。

## ① 未来社会像対話の場

2050年カーボンニュートラルの **サステイナブルな未来像を議論・創造する場**

産官学民の幅広いステークホルダーが、ワーキンググループを構成して、未来像とそこに向けた経済社会システムの移行像を示す。  
(例:生活者視点のサステイナブルな経済社会システムのあり方、2050CN時代の企業の役割 等)

## ② 市場ルール形成の場

カーボンニュートラル時代の **市場創造やルールメイキングを議論する場**

上記未来像を踏まえ、新たなビジネスモデルを検討し、市場創造のためのルール作りを行う。  
(例:CO2ゼロ商品の認証制度 等)

## ③ 自主的な排出量取引の場

カーボンニュートラルに向けて掲げた目標に向けて **自主的な排出量取引を行う場**

高い排出量削減目標を自主的に掲げ、その達成に向けた取組の推進・開示と、  
**カーボン・クレジット市場**を通じた自主的な排出量取引を行う。